

町政を問う

一般質問
10人

大津町の計画作成準備状況は
どのようになっていくか

国民保護法への対応について、県の計画に基づき町の計画を作成することとなっているが、準備はどのようになっているか。

家人町長

えている。

国民保護法への対応 について

平成19年2月決定で
準備作業を進める



吉田 忠道 議員

国民保護対策本部及び緊急対策事態対策本部条例と国民保護協議会条例を平成18年3月議会提案に向け準備作業に入る。国民保護計画（案）の素案を7月をめどに作成し、国民保護協議会への諮問、住民説明会、県との協議を経て、2月に決定、3月に議会報告を考

国民保護協議会を早く
設置すべきである

国民保護法への対応で急がなければならないのが国民保護協議会の設置である。県が計画決定した後に設置するのでは遅い。本年12月までにできるはずである。

家人町長

駅南の道路については、全線工事が完了している。他の二つの路線は昭和53年に決定された道路であり、そのままの計画を進めるのは厳しい状況である。整備するには大幅な見直しが必要である。

振興計画の都市計画について

中心市街地外から肥後大津駅へのアクセス道路として、三つの計画、駅前築善線、門出三郎松線、駅南二号線がある。この道路整備の現状、見直しはどのようになっているか。

整備の優先順位としては駅前築善線が高いと判断している。一つの道路で25億から30億の事業が予想されるため、補助金が付かなければ、事業の推進は困難である。

なるべく早く設置できるように
努力する

家人町長

国民保護協議会の設置については、人選の問題もあり、12月までは厳しい状況であるが、できる方向で努力する。



校区別懇談会



永田 和彦 議員

町長の責務とは

①衆議院選挙に町民の坂本てつし氏が立候補された。県議会議員としての実績はもとより、大津町民が郷土や国の繁栄を願い起こした立派な行動と思う。こういう場合の町長としての摂理ある対応は非常に重要と思うが、どう対処されたのか。

②アメリカの姉妹都市締結10周年を記念して、ネブラスカ州ヘイスティングズ市へ、7月27～8月3日訪問されたが、BSEに対する国策と今回の訪問団の理解は一致していたのか、姉妹都市締結10周年の成果とは、また今回の町長、議長訪問による町民の利益とは何か。



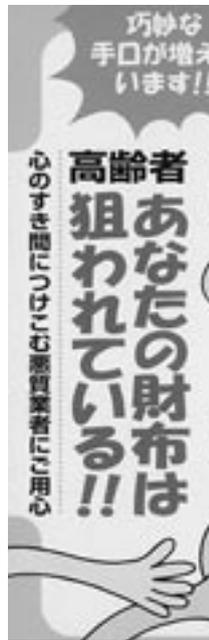
姉妹都市 10 周年記念行事
アメリカネブラスカ州ヘイスティングズ市

住まいの安全確保について

去る8月16日、東北地方において震度6弱の強い地震が発生した。言うまでもなく日本は地震に備えなくてはならない国だ。そういう国の事情を利用する悪質リフォーム業者による被害も後を絶たない。また、人体に非常に強い悪影響を及ぼすアスベストの対策もままならない状況である。そこで提案したい。災害を防ぎ、または最小限

相談できる窓口体制をとりたい

地震対策について、平成17年1月現在、大津町における民間の木造建物が1万1300戸あり、うち昭和56年以前の建物が6800戸、その後建設され



悪質商法に注意を

た建物も、20年以上経過し耐震化に疑問を生じているものがあると考えられる。
住民の皆さんの安全、安心のため、担当課の方で、悪質ナリフォーム関係業者に対して対応できるように、総合窓口的に相談できるような体制をとっていきたい。
アスベスト対策について、解体等における届け出は、今のところ町への報告はなく、労働基準監督署等に届けを直接されている状況である。

家人町長

①公人として対応 今後のがんばりに期待する

町長は公の職に就く公人であり、国政選挙において賢明な有権者の意思を妨げるような対応はできないと考

える。
私個人としては、地元大津町育ちの一人のすばらしい人であり、国を思われ地域を思われ、その意思には本心に敬意を表する。初心を忘れず、今

②BSEには冷静に対応 国際化と人づくりに貢献

後もがんばっていた多くを心から期待したい。
今回、私と議長、他3名と、自費参加で町国際交流協会の会員7名、日本庭園建設ボランティアグループ6名、合計18名で、式典に参加した。

BS E問題について各ホストファミリー間の話し合いで、牛肉を食卓に出さないよう申し合わ

せてあったと聞いている。ネブラスカ州副知事リック・シーヒーという方を訪問した際「自分は州の農業問題担当で、この問題の早期解決を望んでいるが、日本の考え方についても理解している」とのことであった。

姉妹都市交流活動にこれまで中高生153名、合計約200名を派遣。この海外派遣が一つの契機となり、現在海外の領事館に勤務の方もおられる。

さらに町の国際交流協会が設立され、海外からホームステイの受け入れや在住外国人との交流などボランティア活動を積極的に、地域の国際化と住みよいまちづくりに貢献されている。

産業面についてセールスをするべきという点について、指摘のとおり今後の国際交流の中で、各企業や商工会関連の皆さんに窓口を広げながら、進め方を十分検討したい。

町・文化財について

町には数多くの文化財があるが、名称の標柱及び説明板等の設置が出来ていない部分が多くあり、地域住民にも理解を求め整備を促進して後世に正しく伝えるべきである。又、国や県の指定を受けるにはどのような過程があり、今後どのように考えているのか。

後世に正しく伝承を

武田教育長

文化的な無形・有形の品物について今後いかに後世の人達に伝えていくか伝承・保存その詳しい説明が大変必要だと思う。現在年間二箇所から四箇所説明板を作っている。町が進めているミニ特区事業等活用しながら、地域でも歴史等を調べ地域の文化財の題材をその地域で勉強して頂き、表示、看板等につながればと思う。国指定を受けるには、国の文化財保護法に関連する、それぞれの指定基準・要綱をクリアして、全国的な視野に立って調査され、条件が揃ったものを国・県・市町村と、事前協議し、文部科学大臣が、国文化審議会に諮問して、その答申を受けて決定となる。



新開 則明 議員

現在町では江藤屋敷を国指定の重要文化財にしてほしいので文部科学省

と話を進めている。国指定・県指定を受けると補助金等が出てくる。町においても今後町で重要な

ものは文化財保護委員さん方に検討していただき町指定を増やしていきたい。



標柱と説明板

アスベスト(石綿)対策について

家人町長

町の施設におけるアスベストの使用の状況については、図面や設計書を集めて一括して書類上の調査をしている。明らかにアスベストではないかと判断できる材料を除き、壁や天井等に施行された吹付材料と云えるものについては全部調査するとして、現在材料のサンプリングを行い北九州市

吸い込まない“注意”

町の施設におけるアスベストに対する説明及び今後の対策を町民に示すべきではないか。安全を確保するため予想外の経費が必要となる事も発生するがどう対処していくか。又各家庭においても注意すべき事があるのではないか。

の検査機関で含有分析中である。結果が出た後、町民の間にも不安が広がっているので広報等で公表を行う。アスベストを緊急に処理した方がいい場合は補正予算をお願いすると思う。国の補助事業等で対応が可能であれば補助事業の活用を検討している。家庭で不安であれば建設時の工事業者や設計者に相談されるが良いと思うが役場の都市計画課で相談に乗れる様な体制を住民に知らせなくてはならないと思う。

水田の減反政策(転作)及び畑地の休耕地対策について

家人町長

町としては国の新たな食料・農業基本計画にも掲げている、担い手の明確化、集落を基礎とした営農組織の育成、法人化を推進している。現在町では大麦若葉を8戸で約50ha・青汁用甘藷約5haが作付され、町に進出した東洋新薬などに出荷されている。今後は会社との連携を取り、新しい生産者の確保や農地の有効利用を含め、甘藷の加工用や焼酎用については今後企業の需要や市場の動きを見ながら検討していきたい。

営農組織の育成を

町としては国の新たな食料・農業基本計画にも掲げている、担い手の明確化、集落を基礎とした営農組織の育成、法人化を推進している。現在町では大麦若葉を8戸で約50ha・青汁用甘藷約5haが作付され、町に進出した東洋新薬などに出荷されている。今後は会社との連携を取り、新しい生産者の確保や農地の有効利用を含め、甘藷の加工用や焼酎用については今後企業の需要や市場の動きを見ながら検討していきたい。



機械利用組合による秋の収穫



荒木 俊彦 議員

郵政民営化は国民にとって百害あって一理なし

総選挙の結果は、自民・公明党で衆議院の3分の2絶対多数を占めた。しかし、得票総数では、5割弱で議席は2/3を占める小選挙区効果である。

郵政民営化は議論をすればするほど国民にとっては百害あって一理なしである。なぜなら、

- 郵政事業には税金は1円も使われていない。
- 民営化されたら若者の雇用条件はますますひどくなる。
- 職員が減らされ、賃金が下がれば、地方に納める税金が大幅に減り、地方経済を冷え込ませる。

町長はどう考えるか。

民営化を期待する

家人町長

郵政3事業の資金は300兆円を超え、財政投融資と国債の購入に充てられている。郵便局が集めた金を政府が使うのは金融としては不健全で、財投の金の使い方は非効率的で不透明との批判がある。



サルは走る
ニバスは
ユササカ
カササカ

民営化すれば資金の使いみちは民間が決め、国債以外の有効な使いみちでサービスが向上し、資金フロー改革、財政再建、民間事業機会の拡大という構造改革に直結する郵政民営化に期待する。

国保税の減免制度を医療費の軽減・免除制度の検討を

国民、庶民の暮らしは、収入が減り続けている。国保税の減免制度が必要ではないか。

医療費の減免制度は、その後検討されたのか。国保税の滞納の実態と対応を聞きたい。

短期保険証、資格証明書の発行数。そのうち高齢者世帯と児童を抱える世帯数はどうなっているか。

高齢者の生きがい対策と地域経済活性化を

① 乗合タクシー計画が検討されているが、特に高齢者、障害をお持ちの方には特別な配慮が必要ではないか。

② 車椅子でも利用できる地域コミュニティの拠点として、地域公民館の位置付けと改修費用は町が負担するべきではないか。

③ 介護予防で住宅改修は、非常に効果的。最低でも50万円ほどの補助を行え

国民健康保険の制限世帯の実態

	老人世帯	児童扶養世帯
短期保険証 3ヶ月しか使えない	57人	147人
資格証明書 窓口で全額負担	0人	9人

医療費の減免規定は整備する

家人町長

① 町の減免規定では「災害等により生活が著しく困難となった者、またこれに準ずると認められた者」に対して減免する」としている。短期保険証・資格証明書の運用にあたっては慎重に、交付事務を通して、滞納者

と対応している状況である。

② 熊本市が国保一部負担金の減額、減免及び徴収猶予の取扱いを16年4月から施行している。町でも国保法44条の趣旨を踏まえ規定を整備する方向で検討したい。



資格証明書は窓口で10割負担となる

利用しやすい乗合タクシーに自治公民館を地域の拠点に

家人町長

ば地元業者の仕事おこしにもなり、生きた税金の使い方ではないか。

① 公共交通計画では① JR九州バス撤去後の対応。② 既存のバス路線の見直し。③ バス路線空白地への対応である。バス路線空白地への対策での乗

合タクシーは、決まった運行時間帯となる。町中心部までの乗降場所は、役場などの公的施設、病院、スーパーなど利用しやすいように、また運賃の設定、予約の方法など、高齢者の方に負担にならないように検討する。

運行しながら利用状況などを検証し、良かったと思われるよう改善していきたい。

② 自治公民館は、町内64行政区のうち整備済が54、未整備地区が10。検討中が7ヶ所。(特に町中心部

の大江、室校区と新興住宅地など)

今後、高齢者の生きがいづくり、健康教室、地域の身近な拠り所、子育てや地域内の交流の場、拠点整備として検討する。

③ 介護保険での住宅改修実績は15年度で118件、16年度で112件。20万上限で本人負担は1割。住宅改修は、介護予防や地元業者の仕事の確保にもなるが、当面は介護保険で進めていきたい。

今後の介護予防の参考にした。

町長のリーダーシップを問う

国政と違い地方自治は大統領制になっている。町民から直接選ばれる町長には町の将来に対するビジョンが必要であり、リーダーシップも要求される。

家人町長は大村前町長の「日本一の町づくり」を継承している。そしてまた町民の意見、議会の意見を尊重しようとする姿勢はありがたい。だがそろそろ、将来の大津町をこういう姿にするんだという自分自身のビジョンを示してもらいたい。

家人町長

まずは町民の方々のご意見を十分聞いてというのが基本だと考える。

まずは町民の意見を聞きたい

過去、私も役場におりまして、経済事情がいい時には、役場のやることは間違いなと住民の皆さんは考えていたと思う。そういう

立って町づくりの方針を決定し新たな目標に向かっていかなければならないと考える。行政と住民共同の町づくりなので、住民の納得のいく税の使い方、取り組みが不可欠と考える。そのためには、計画の最初の段階から町民のご意見が不可欠と思う。議員のお説のとおり、町長は大統領制であるので、町長の立場で指導力を発揮しなければならぬということには十分認識している。



坂本 典光 議員

矢祭町を見習い 思い切った行財政改革すべし

福島県矢祭町は人口7000人、財政力もない(財政力指数0.23)生き残るために大胆な行財政改革を始めた。

三役給与30%カット
課長は3つの役職兼任

議員定数の削減 18→10人

それで行ってサービスは向上させている。365日役場窓口サービスをやる。この情熱に職員も町民も答えた。

村民はボランティアで協力した。今、全国が注目している。

大津町と矢祭町を単純に比較できないが、本当に生き残りに必死な矢祭町を見習って、改革するならば当然の意味で大津町は全国から注目される優良都市になれるだろう。

町長にそういう意志はないか。



家人町長

国の三位一体の改革や

地方分権の進展、

少子高齢化など

町を取り巻く環

境の変化に対応

し、限られた財

源の中で、住民

サービスを下

させることなく、

継続的な町の発

展を図るため、大津町行

財政改革大綱の基本方針

として、住民満足、住民

協働、経営の3つの視点

で財政改革を推進するこ

とにしている。行財政改

革は、職員の意識改革な

しには到底成し得ないと

思っている。矢祭町長さ

んを筆頭に、全職員の根

気と徹底で改革に取り組

む姿勢は見習う必要があ

ると考える。

見習いたい

耐える、忍ぶ精神(教育)の伝

豊かな物質文明は日本人の「耐える」「忍ぶ」精神を壊してきた。社会に、教育にこれらの精神をよみがえらせるべきだ。

武田教育長

忍ぶ精神は大変大事な ことと思っている。私た ちの先輩が終戦から立ち 直って日本を世界一流の 経済大国に仕上げた。う んと我慢をし、日夜働き、 知識を求め技術を作りな がら日本を一流の国にし たと思う。そして未曾有 の景気、バブル後の不況 というものが発生した中 で、子ども達の環境は物 質が豊かになり過ぎたこ と等も含めて大幅に変わ った。子ども達の行動も はじめ、少年犯罪の増加、 この頃はフリーター、 ニートという言葉も発生 している。私達は我慢、 生きる力という言葉を使 っているが、この忍ぶ 精神を学校行事あるいは 社会教育の中で保護者、 地域等に対して話題とし て入っていくようにした い。



田代 國廣 議員

助役選任について

家人町長誕生以来、3回目の定例議会を迎えましたが、今、定例会においても助役選任に関する議題は俎上しておりません。私は、貴方を含め3人の町長と接してきましたが町長職がいかに激務かを議会人として感じてまいりました。収入役は中止されたと受け止めますが、助役には必要ではないでしょうか。多くの町民の方々が、助役選任に強い関心を持っておられることを考えると町長は速やかに自らの意思を示す時期ではないか。

家人町長

助役選任については、大変多くの町民の皆様、そして議会議員の皆様にご配慮をいただき大変感謝しております。ご承知のとおり大津町は、振興計画策定や行政大綱の策定

等様々な課題に取り組んでおり、このような難しい局面を迎えている時

ですので何よりも職員の間を大切にしている。各々の職員が難局を乗り越える力と意思を身につけ新たな大津町がある程度軌道に乗り始めましたら、

内務については助役に任せて私は企業誘致等をはじめとする諸課題の進展へ向け外部との折衝に専念すべきと考えている。時が来しましたら、改めて審議をお願い致したい。

今しばらく時間を

農業委員の資格について

農業委員の資格については、10a以上の耕作と60日以上の農作業従事日数がルールとして定められているが、今年行われた農業委員の選挙においてこの規定に全く該当しないと思われる事が発生しました。その原因は地区担当農業委員のチェック機能の甘さが起因していることは明らかである。今後この様なことが起きないためには農業委員会による指導徹底が必要と思う方がいかがか。

家人町長

議員のご指摘の資格の問題ですが、これについてはやはり少し甘かったと反省している。農業委員会長の及び農業委員会事務局と十分協議しながら指導徹底し、資格を取れるような人をしていきたい。今後についてはご心配がないよう努めていきたい。

指導徹底を行います

大津北小学校の新築移転について

小中学校の統合や校区の変更は、教育行政の中で最も難しい問題だと言われている。学校や校区はある意味で地域のシンボルであり、誇りであり歴史でもある。この難題を関係する各校区民の方々が児童生徒のことを思うが故の決断で大津北小が誕生したと思う。統合するに当たって有利な補助事業の対象である6年以内の移転新築を明らかにされていたが統合以来3年目を迎えどうなっているか。

武田教育長

大津北小はH15年に開校。自分達の地区に造りたい、もうちょっと大きい学校にしたいという意見等で平行線をたどっている。将来子ども達が活発に動いて活動できる学校は、やはり1学年2クラスぐらいあった方がよい。特別委員会を設置し10月末日までの期間設定を行い3校区の意見の合意を図りたい。

あと3年の間に建設を

不交付団体として今後のまちづくりはどう進めるのか

不交付団体は県内各町と大津町だけで大変喜ばしいことである。既存の産業振興を図り乍ら企業立地係を新たに設けて企業誘致に努めることが重要である。道路の整備も町発展に不可欠と思う方がいかがか。

家人町長

歳出の合理化と歳入の確保をはかっていきたい。指摘の道路は早急に検討。企業立地係は十分検討し、やらせていただけたらと思う。

企業誘致は重要課題

歳出の合理化と歳入の確保をはかっていきたい。指摘の道路は早急に検討。企業立地係は十分検討し、やらせていただけたらと思う。



大津北小学校
大津北小は3校統合後6年以内に新しい校舎建設を約束している

大津町教育の日の評価と 将来への展望と新たな具体策は

平成14年5月14日、第1回大津町教育の日が始まって3年が経過。通称「学校に来てはよい」と毎月14日に町内すべての幼稚園(私立を含む)小・中・高校・養護学校を始業から終業まで一日学校を開放し、保護者や地域の人が自由に学校の教育活動を参観できる日である。3年経って評価はなされているか、またそれがどう生かされているか、マンネリ化していないか、今後の方向性は。

運用・内容は学校独自色・アンケート等は毎月学校等で対応



鈴木ムツヨ 議員

武田教育長 過去に大津町の学校で荒れた経緯があり、そのときの対策として、父親が来て(P.T.A活動への出席がなかなかできない)子ども達の授業を見ながら、是非その荒れをなくしたいと土曜日のオープンスクールを開始。H14年、学校週5日制でオープンスクール廃止・成果を踏まえ幼稚園、小学校、中学校、高校の連携もあり毎月14日の教育の日制定。先生にとっても1日全部観ていただくから真剣味が出て、子ども達も授業を受ける姿勢や態度が少しは変わるという事で喜ばれている。地域の不審者等の対策、地域と学校が密着し

学校評議員 について

ておれば学校に来れなくなる条件ができはしないかと思いますが今後努力していきたい。

学校評議員が設定された背景と役割・権限・人数・民生児童委員との違い・誰がどういう基準で選任するのか。会合の回数、子ども達のために役立つているか。問題点はないのか。

各学校3～4人で約30名任命

武田教育長 学校長の推薦で教育委員会が承認。平成13年度より導入。校長が、学校評議員より自分が思っていることに対して意見を聴取。アドバタイザーでありサポーターである。

「子ども 1110番の家」 について

今年も不審者の出沒が昭和園、あけぼの団地、室塘坂付近、日吉ヶ丘団地付近、天神高校北側の道路、平川上猿渡付近、ミルクロード入口とある。子ども達が学校を下校する時間帯や、夜間町の宝、子ども達を守ろうと地域ぐるみの補導活動多くのボランティアの人達によるパトロールが実施されている。町の中には「子ども1110番の家」のステッカーが貼られた店舗等見受けられた。「子ども避難場所」と書



運動会

かれた幟もある。子ども達は知らない家には飛び込めないのではないか。実際利用した子どもがいるのかどうか設置者とP.T.A、子ども達の交流、親子で緊急避難場所であることを話し合う取り組みがなされているか。

各学校に徹底を

武田教育長 現在128名登録。110番の家が積極的に動くことがないので結果は不明。校長・P.T.A役員さん等へ、110番の家の活用・広報をきちんとし、また不審者から守るような状態をきっちりしたい。

立野ダムの 進捗状況は

S28年6月の白川の洪水は大災害となり抜本的な治水対策として、立野ダムを計画。S58年4月建設事業着手から22年。洪水調節計画は自然調整方式で計画流入量の内の毎秒400トン进行调整。位置は右岸が立野・左岸が大津町外牧字北向山、大津町の関わりは。本体工事はいつからか。

ダムの完成は15年から20年先

家人町長 5・8haの原石山、6・7haの土捨て場それから57号から内牧橋までの1・3kmの道路建設関係等について説明があつている。今、原石山の文化財調査が行なわれ(4年位掛る)その後、工事用の道路建設並びに土捨て場のほ場整備関連事業が検討されている。



手嶋 靖隆 議員

滞納処分の実態を問う

課税は厳格、公正でなければならぬが、一部納税者の理解が得られないまま、毎年のように納税繰越し及び不納欠損額を計上しなければならぬ現状にある。結果として、完納者との負担公平、かつ均衡を阻害しているものであり、滞納処分について厳正な措置が求められる。滞納者の実態をどのように分析し、把握しているか。また、滞納者に対してどのように対応しようとしているか。国民健康保険税の未納者の実態は、他の自治体と比較してどのようなになっているか。徴収率向上のため、徴収者を専念させる考えはないか。

納税相談を生かし滞納のない町をめざす

家人町長

4年前、納税組合を廃止したが、収納強化対策により現在の徴収率は当時より上がってきている。今後も職員が納税に十分生かすべく、納税相談を十分生かすべく、

ながら、納税は町民の「義務」であることを理解していただき滞納のない町にしていきたい。国保税は、国保調整交付金のペナルティの対象となる93パーセントを下まわったことはない。収納向上のため、徴収担当職員の使命感としての勇気と熱意を持つ職員を育てていく。



大津町市民農園



岩戸の里

観光事業の促進を

本町の観光は自然豊かな基盤に、静かさと動きの調和のとれた総合的な魅力ある観光づくりが求められている。現状は、緑として、矢護川の自然公園他、花は日吉神社、昭和園のつじ他、歴史文化として水戸屋敷、梅の造花、横綱不知火光右衛門の銅像、十五夜大綱引き、地藏祭、肥後の団子汁、JAとりたて市場、岩戸の里温泉等々がある。観光産業の発展は人と人の心のふれあい、接待というのが一番大事である。

本町の観光は自然豊かな基盤に、静かさと動きの調和のとれた総合的な魅力ある観光づくりが求められている。現状は、緑として、矢護川の自然公園他、花は日吉神社、昭和園のつじ他、歴史文化として水戸屋敷、梅の造花、横綱不知火光右衛門の銅像、十五夜大綱引き、地藏祭、肥後の団子汁、JAとりたて市場、岩戸の里温泉等々がある。観光産業の発展は人と人の心のふれあい、接待というのが一番大事である。

家人町長

行政押しつけでなく地域のひと相談しながらやっていく

大津町にあるイベントや文化、歴史、いろんな形のものでたくさんあるが、その中で今ひとつ何か足りないものを感じ、観光産業振興に生きている。花火的にはぱんと上がって終るといふものでなく、観光産業推進には継続的に長く続けるものが必要である。そのため、行政が押しつける観光とか地域の活性化ではなく、人と人とのつながりの輪が広がり、町外までつながるような地域の皆さんが本場にこそ愛し、産業に打ち込めるようにしてはならない。継続するような計画案を十分相談しながら、やれるものから長期的に続けていく。新幹線の開通に伴い、大津町での観光産業をどう生かしていくかということも十分検討しながらやっていく。

ニート、フリーター、 引きこもり対策は

国の調べで、15歳〜24歳のニートと言われる若い方が、働かず学校にもいかず技術も身につけようとしていない人が、2004年度に64万人位おられるとの事、大津町での現状と対策はどうか。

家人町長

平成2年の国勢調査で

は85名であるが、平成12年は189名である。今年度の国勢調査ではさらに多くなり

なりはしないかと心配している。

大津町における雇用対策

策であるが、例年町内企業と学校との懇談会を開催している。その結果、

大津高校や翔陽高校を含む近隣17の高校から大津

は年々増加している。大津町の子ども達が就職できるような企業誘致を進めたい。

就職できるような企業誘致を進めたい。

高齢者は宝、体験ある人生道を 町づくりの振興計画に

明治、大正、昭和の物が不自由な時を過ごされた高齢の方々、世界有数の恵まれた国づくり、世界一長寿な国づくりを体験され、そして豊かになった現在の時勢も味わっておられるかと思う。幸せづくりは2〜3度の



藤森昭二朗 議員

つうさ、きびしさにめぐりあってこそ幸せづくりはできるものでは。町づくりを進めるためにも人生経験あられる高齢者の声も取り入れたらと思う。

家人町長

老人クラブの皆さんや

多くの地域の皆さんと相談しながら、そのエネルギー

ギーを是非大津町の今後の地域の振興計画に生かしていききたい。

菊阿中学校の利活用について

新年度より廃校になる、菊阿中学校のもったいない？ 階建てづくりの校舎、日本各地の廃校を研究して、町内のための施設に活用を。1階部分を高齢者住宅、2階部分を子育て家庭の住宅。広い運動場は、集落営農の拠点にそれとも民宿、地域の集まりの場。まだ色んな利活用があるかと思う。



菊阿中

家人町長

跡地の利用は地元の皆さん、学校教育課とも十分相談したい。あそこが牛、豚を飼うのはいかが

集落営農について

少子高齢の時代になり食物を生産するシステムが崩れてきてはいないか。集落営農、担い手づくりはどう計画をすすめられるのか。

家人町長

大津町の農業については畜産をはじめとし、野菜農家関連は大変元気ある経営を営んでおられるよ

うだ。後継者も年々多くなっている

と聞いている。法人化、企業的経営が進んでいると思っ

ている。ただし、水田農家は大変厳しい状況に置かれて

いる。国が進めている食料、農業、農村基本計画に基づくところの担

手の明確化を打ち出しな

なものかと思う。企業誘致をすれば瀬田駅周辺の開発につながるのではないか。

から、認定農業者等集落の営農組織ということをして、国が進めている。その中で頑張っている。大津町には認定農業者は約150戸、農業法人が19経営体、機械利用組合が22団体、農業の担い手として活動している。今後、法人化された農家や認定農業者の方々には、一層の経営の健全化や規模の拡大をめざしていただき、担い手が減少した水田農業地域は、集落営農の法人化が今後必要になると思う。大津町も農協とともに地域の中のリーダーを育成しながら、十分対応したい。

集落営農の法人化



月尾純一郎 議員

市町村設置型合併処理浄化槽の取り組みを急げ

汚濁防止や水質浄化など水環境の整備は、大気や土壌の汚染防止等と同じく、自然共生・循環型社会の形成にとって、その促進が緊急な課題となっている。経済効率性、環境効率性、地域特殊性等を踏まえ、市町村設置型合併処理浄化槽への取り組みが大事と思うがどうか。①大津町において、下水道あるいは農業集落排水が設置されていない地域の汚水処理がどのようになっているか②どのような対策が考えられるか③市町村設置型合併処理浄化槽事業を承知しているか④森林資源、水質源における大津町の立場・役割は何か。

地下水保全は勿論である

家人町長

大津町の「環境の森構想」については、私も循環型社会を目指す一人として継承していきたいと思う。中流地域にある大津町の役目としてはしっかりと力を入れていきたい。矢護川のゴルフ場跡地や不法投棄の瀬田裏において、熊本市や企業の皆さんにより、広葉樹の植栽も行なわれている。環境で生きていく、環境を生かす、そんな思いの中で大津町の産業及び観光についても考えていかなければならない。地下水保全は勿論、下水道の整備は急がなくてはならない。

と思う。先代の人々が残してくれた素晴らしい水環境を次世代の人に引き継がなければならぬ。市町村設置型合併処理浄化槽は市町村が設置し、管理する事業で、国費や起債が充たでき、個人が設置する合併浄化槽整備事業と比較すれば個人負担の低減が図れる。現在、農業集落排水事業の方が安価に仕事ができるというところで決定をしている。

「子ども読書活動推進計画」策定について

「子ども読書活動推進に関する法律」及び「文字・活字文化振興法」の成立により、自治体や社会全体での理解と関心が高まっている。①子育ての町を自負する大津町の取り組みは②「子ども読書活動推進計画」の策定をしていく考えはあるか③4月23日「子ども読書の日」をどう考えていくか。

早急に取り組まなければならない問題

武田教育長

県が16年7月に「熊本市子ども読書活動推進計画」を発表している。大津町も早急な動きをしなければならぬと思っっている。今、いろいろ叫ばれている日本の子どもたちの学力の低下の問題。その原因は読解力の低下という結論に達している。平成14年から大津中学校で文部科学省の研究指定を受け「生きる力を育む読書活動推進事業」幼小・中連携及び家庭・地域が連携して読書活動を進めるといふ大津中学校区域の読書活動の勉強、研究をやっている。「子ども読書活動推進計画」の策定については、早急な取り組みを図書館協議会や社会教育委員という制度の中で議論をしてい

ただきながら、大津町の方角を出し、子ども達の読解力をつけていきたいと思っっている。

高齢者など災害弱者の緊急対応策について

自治体がコーディネーター役になり当事者、家族、地域、社会福祉協議会、福祉関係者、NPO等がそれぞれ力を合わせることで、一人ひとりの命や暮らしを守る事ができる。大津町の災害弱者への緊急対応策を問う。①大津町の災害弱者の実態を把握しているか②その人達への緊急対応策はどう取り組んでいるか③災害弱者対応の防災マニュアルが作られているか。

災害弱者対応の防災マニュアルを急ぐ

家人町長

大津町には65歳以上の高齢者は、約5千600人。その中でも一人暮らしの方が517人。またその中に72人の寝たきりの方がおられる。重度の在宅身体障害者の方が39人。重度の在宅知的障害者の方が46人おられる。民生委員や在宅介護支援センター、生活管理指導員派遣事業や老人クラブ連合会のシルバーヘルパー、または緊急通報装置や在宅給食サービスなどで各世帯を回りながら安否確認を行っている。今、大津町で地域福祉計画実行計画を策定中である。また、先の台風14号等を通して防災マニュアルがなくてはならないことも実感している。いろいろな問題を把握した形で、検討、計画をすぐにでもさせていたいただきたいと思っっている。



老人用の緊急電話